

## ジェロントロジー（老年学）研究に関する助成の決定について

公益財団法人SOMPO福祉財団（理事長 西澤 敬二、以下「SOMPO福祉財団」）は、2022年度ジェロントロジー研究助成として、16件の対象者に合計約797万円の助成を決定しました。

### 1. ジェロントロジー研究助成の概要

SOMPO福祉財団が実施しているジェロントロジー研究助成は、高齢者福祉の増進に資することを目的にジェロントロジーに関する社会科学・人文科学分野における研究に助成を行う事業です。今年度は、2022年4月から7月にかけて公募したところ、28件の応募があり、16件（1件50万円上限）の助成を決定しました。本助成は1993年から隔年で実施しており、昨年までの28年間で助成先は累計268件、助成額は合計約1.6億円となっています。

### 2. 研究報告の発行

前回（2020年度）の助成による研究成果を「ジェロントロジー研究報告No.15」（B5版）として11月（予定）に発行します。本報告書には13件の研究成果が収められており、高齢者の社会活動、介護者のスキルの向上など幅広い研究テーマを取り上げています。

### <SOMPO福祉財団について>

SOMPO福祉財団は、SOMPOホールディングス株式会社の出捐を受け、社会貢献活動の一翼を担う財団として設立された公益法人です。同財団の主な活動は本研究助成のほか、社会福祉・社会保険・損害保険の研究会や講演会の開催、わが国における優れた社会福祉学術文献の表彰（「SOMPO福祉財団賞」）およびこの受賞者による講演会・シンポジウムならびに介護福祉士養成のための奨学金の給付などを行っています。

2022年度 ジェロントロジー研究助成 対象者

※共同研究の場合代表研究者

形態	対象者※	所属	研究テーマ
共同	有田 久仁子	東京都立大学大学院人間健康科学研究科・大学院生	ポジティブディビアン手法に基づき、地域高齢者の身体活動を促進している日常生活行動を調査する。その行動項目の妥当性、信頼性を検証し、地域高齢者の習慣的な身体活動を支援する評価尺度を開発する。
共同	宇良 千秋	東京都健康長寿医療センター研究所・研究員	認知症共生社会における地域資源としての寺院の可能性：お寺での介護者カフェの効果
単独	王 聰	東京大学大学院農学生命科学研究科・大学院生	原発事故被災地における高齢者家計の現状と課題に関する社会福祉学的研究—福島県を事例として—
単独	春日 彩花	大阪大学大学院人間科学研究科・助教	「知恵」の形態と生活文脈の関連—人生を通じて発達する「知恵」とは何か?—
共同	辛島 順子	実践女子大学生生活科学部食生活科学科・准教授	地域包括支援センターにおける地域在住高齢者の低栄養予防・改善への取り組み～栄養管理の実際と管理栄養士との連携に焦点を当てて～
共同	菊地 眞海	北海道大学大学院保健科学院・大学院生	「高齢者の地域を基盤とした人々とのつながり観」測定ツールの開発と理論的検証
共同	久米 裕	秋田大学・教授	社会的フレイル改善に関する高齢期の生活リズム構成要素を明らかにする包括的研究
共同	齋藤 崇志	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 障害福祉研究部・研究員	高齢者の視覚リハビリテーションに関するニーズをアセスメントするための指標の開発
共同	庄嶋 健作	兵庫医科大学医学部・助教	サクセスフルエイジングを支える幸福感に寄与する要因の探索
共同	関野 明子	桜美林大学大学院老年学研究科・大学院生	別居介護を選択・継続していくプロセスと、在宅での別居介護を断念する要因を検討し、別居介護の限界点を明らかにして、別居介護支援体制の構築につながる基礎的な知見を獲得するための調査研究
共同	田島 明子	湘南医療大学・教授	介護老人福祉施設における高齢者と動物の共生のための支援技術とケア文化—介護職員へのインタビュー調査とフィールドワークからの考察—
共同	谷田 純	大阪大学大学院情報科学研究科・教授	高齢者に生きがいをもたらす演劇活動を促進するため、先端的な光技術の応用による演劇活動支援を導入し、その有効性を明らかにするとともに、高齢者の社会活動寿命を延ばす新たな手法としての可能性を示す。
共同	平山 順子	白百合女子大学生涯発達研究教育センター・研究員	高齢期夫婦のパートナーシップ:「仲の良い」夫婦と「仲の悪い」夫婦は何が違うのか?なぜ悪くなるのか?
単独	堀 恭子	聖学院大学心理福祉学部心理福祉学科・特任教授	心理職には多職種協働が求められることが多い。「心理面接」や「心理アセスメント」だけでなく、個人や組織を環境との相互作用内で理解して支援することの重要性を研究によって明らかにすることをテーマとしている。
単独	三宅 沙侑美	岡山大学大学院社会文化科学研究科・大学院生	介護士が介護サービス利用者と信頼関係を構築するためのソーシャルスキルデイサービスセンターにおける対人関係形成に関する心理教育法の開発に向けて—
共同	森 裕樹	兵庫県立大学大学院環境人間学研究所・講師	元気高齢者の男性にアプローチした通いの場の包括的モデル構築と社会実装